

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------|--|---|--|-----|-----|
| 教 科 | 地理歴史 | 学科・学年 | 全学科 第2学年 | 単位数 | 2単位 |
| | | 教科書 | 高校生の地理総合 (帝国書院) | | |
| 科 目 | 地理総合 | 副教材 | 標準高等地図 (帝国書院) | | |
| 科目の目標 | 1 地球儀や地図から地球の特色をとらえ、日本及び世界が抱える現代社会の諸問題を理解する。 2 地形・気候などの自然環境が生活・文化に影響を与え、諸地域独特の特色を形成していることを認識する。 3 身近な地域生活・文化を学ぶとともに、地球規模の課題に気づき、国として自分としてできることを考える。 4 日本や地域 (愛媛県・大洲市) の自然環境と災害について認識を深め、防災の知識と関心を高める。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技術【知】 | 思考・判断・表現【思】 | 主体的に学習に取り組む態度【主】 | | |
| 趣 旨 | 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 現代の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断し、社会参画や合意形成を視野に入れ、構想したことを議論している。 | 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | | |

| 学期 | 学習内容 | 学習活動・学習のねらい | 評価の観点 | | | 評価規準 | 評価方法 |
|-------------------------------------|--------------------------------|--|-------|---|---|--|--------------------------------------|
| | | | 知 | 思 | 主 | | |
| 一学期 | 1部 地図や地理情報システム でとらえる現代社会 | 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 | ○ | | | ・地球儀や様々な地図から現代世界の姿を読み取ることを通じ、地図や地理情報システムの役割を理解している | 定期考査 小テスト ワークシート 口頭発表 討論 |
| | | 2節 地図と地理情報システム | | ○ | | ・各種の地図の特徴や、地図や地理情報システムの活用法について、多面的多角的に考察表現できる。 | |
| | | 2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき | ○ | | ○ | ・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追求し課題を見出だしている。 | |
| 二学期 | 2部 国際理解と国際教育 | 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 | | | ○ | ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に互いに影響を及ぼしながら形成されたことを理解する | 定期考査 小テスト ワークシート 口頭発表 討論 |
| | | 2節 世界の気候と人々の生活 | | | | ・地形や気候、他地域との結びつきなどに着目しながら世界の生活文化の多様性の形成の過程について、多面的に考察している。 | |
| | | 3節 世界の産業と人々の生活 | ○ | ○ | | | |
| | | 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 | | | | | |
| | | 5節 多様な生活文化と地理的環境 | | | | ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見出している。 | |
| 2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 2節 食料問題 | | | ○ | | | | |
| 三学期 | 3部 持続可能な地域づくりと私たち | 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 | ○ | ○ | | ・地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係しあっていることを理解している。 | 定期考査 小テスト ワークシート レポート |
| | | 1章 自然災害と防災 1節 日本の自然環境 | | | ○ | ・地球的課題がどこで、どのように生じているのかや解決のための取り組みがなされているか考察している。 | |
| | | 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 | | | | ・持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力の在り方について、多面的に考察している。 | |
| | | 3節 気象災害と防災 | | | ○ | | |
| | | 4節 自然災害への備え | | | ○ | | |
| 2章 生活圏の調査と地域の展望 | | | | | | | |